



みらいっうしん

10月号

2021年10月1日
 田園調布学園大学
 みらいこども園
 園長 勝浦 芳子

実りの秋と子ども達

暑さが少し残るものの、秋風が心地よい季節となりました。朝晩と日中の寒暖差を感じますので、引き続き体調管理にお気を付け下さい。さて、秋といえば、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋・・・思い浮かぶものがたくさんあります。お散歩、遠足、運動会、お月見やハロウィン等のイベントが目白押しで、読書の秋の如く、集中力も増し、たくさんの学びを吸収すると言われていています。今年は、8年ぶりに中秋の名月と満月が重なるということで話題になりましたが、子ども達にも興味津々で、「見たよ！雲さん少しかかっていたけど」「月には、ウサギさんがいるんだよ」などと、会話も弾みました。ぶどう組さんは、お月見団子を作ってスタッフルームの横にお供えして、お月見の風習を楽しんでいました。また秋は、味覚の秋ともいわれるように、新米、さんま、秋鮭、栗、さつま芋、柿など旬な美味しい食べ物がたくさん実りを迎えることから、食欲が増し体力もパワーアップすることができますね。みらいこども園の子ども達も、秋の風を体一杯に感じ毎日園庭を駆け回り、笑い声と元気な姿を見せてくれます。2学期に入り友達同士の関わりが増えたことで、小さな「子ども社会」にも大きな変化が生まれ、遊びもかなり活発になりました。好きなことを見つけて喜んで遊んでいる子、1つの遊びに夢中になっている子、仲の良い友達と会話をしながら遊びを共有し工夫して楽しんでいる子、お兄さんお姉さんの頑張る姿に憧れ一生懸命挑戦する子など、十人十色でたくさんの場面で、より成長している姿が感じとれます。時に自分の思いが通らず泣いたり、落ち込んだり、相手を罵倒してしまうなどの心の葛藤もありますが、自らが環境に関わり、良し悪しに気づき、そして感じ、考えて行動し、「子どもの社会」の生活や遊びを体験することで、集団生活における人間関係の大切さを学んでいるようでとても頼もしく思います。特に遊びは、友達と伝え合い分かち合う喜びを得ることで、人への信頼感、思いやり、尊重する気持ちが芽生え人と生きる術を学びます。この秋の実り多い機に大いに遊び、様々な経験をして欲しいと思います。また、10月9日に予定している運動会は、体を動かす楽しさを知ること、友達同士が力を合わせ心を1つにしての達成感を味わうことを目的にしています。今年は、コロナ感染予防のため、幼児組は学年ごとの開催になります。ほし組、そら組は、親子で体を動かして楽しんでいただき、にじ組は、友達同士意見を出し合い自分たちで作りに上げる運動会にしようとする積極的に取り組み始めました。乳児クラスのお友達も、笑顔と行動範囲が増えて物事に興味を示し、他学年の活動を眺めては一緒に参加している気分を味わっているようです(笑)。この機会に保護者の方々におかれましても、子ども達の成長をどうぞ感じ取っていただきたいと思います。

コロナウィルス感染症は今もなお続き、終わりが予測できません。今後の園行事もしばらく慎重に取り組む必要があると考えていますが、職員一丸となってお子様一人一人の感性を伸ばし、子ども達の行動をたくさん観察し、より良い成長が出来るよう導いていきたいと思っています。



(ほし組)



(そら組)

運動会に向けて旗作り

みらいちゃんの絵を描いたハッピーを着て、カマキリのポーズ!



(にじ組)